



## 事例紹介②

## ISO14001コンサルティングサービスのご利用事例

株式会社極洋 様

昭和12年、捕鯨からスタートした極洋様は、数々の時代の波を越え、漁撈中心の会社から、現在は水産商事と加工食品を主体とした食品会社として、発展をしてきております。

『人間尊重を経営の基本に、健康で心豊かな生活と食文化に貢献し社会とともに成長することを目指します。』という企業理念のもと、食品メーカーとして水産物資源の有効活用と安全で安心な食品の提供を心がけるとともに地球環境への影響を常に配慮した事業活動を推進し、循環型社会の実現に努めています。

2002年を「環境ISO元年」と位置付け、地球環境への影響を常に配慮した事業活動を推進して循環型社会の実現に努めるために「環境保全委員会」を発足、「キョクヨーグループ環境方針」を制定し、2002年12月に本社赤坂サイトのISO14001の認証を取得されました。

ISO14001の認証取得にあたり、コンサルティングサービスを導入し、現在の事業活動でどのような環境影響があり、より一層の環境改善をはかるにはどのような具体策をとればよいか検討してきました。

富士通エフ・アイ・ピーでは、この活動を支援するソリューションとして、EMS支援システム「EVERSLIM」をご提供しました。このシステムは、オフィスのみならず工場・冷蔵庫それぞれの活動の環境側面と環境負荷を入力することにより、その影響の程度などを数値で算出するもので、総合的かつ客観的な分析・評価が行えます。



株式会社極洋様

## お客様の声

ISO14001活動を通じ、地球規模への環境負荷の改善、  
についてはコストダウン・業務の効率化へつなげていきたい

環境保全活動は生産工場からISO14001の認証取得を目指すのが一般的であり、その効果も高いと考えられていますが、当社では本社ビルから始めました。グループの核としてのトップがISO14001システムの構築というものの重要性を意識して、それを率先遂行していったという取り組み方は良かったのではないのでしょうか。PDCAサイクルは生産管理・原価管理につながるし、そこから安全な食品の生産も行われていくわけで、この手法自体がリスク管理や内部監査というコンプライアンスを徹底する意味でも非常に良い手法だと思います。今後、会社経営の改善・効率化というものと、環境マネジメントシステムの構築というものを一体化させていきたいと思っています。

さらに2年目、3年目とキョクヨーグループ全体で取得していくこと、また社外へその成果を発信するために、環境報告書や環境会計なども作っていかねばならないと思います。

いずれにしろ、ISO14001活動を通じ、環境負荷を低減して循環型社会をつくるということを目指すために、社員一人ひとりがこの活動に意識を持って行動していくことによって、地球規模への環境負荷の改善、についてはコストダウン・業務の効率化へつなげていきたいと思っています。



株式会社 極洋  
取締役社長  
(環境保全委員会委員長)  
二村 雄三 様